スミカフレックス 467HQ

タイプ: エチレン - 酢酸ビニル共重合樹脂エマルジョン

特 色: スミカフレックス 467HQは、高不揮発分タイプのエマルジョン

で各種プラスチックをはじめとして幅広い被着体に対し優れた接着 強度を発揮します。ことに初期接着性、耐水強度、耐熱クリープ性に 卓越した効果を有していると共にフィラーや増粘剤など改質剤との

混和性や機械安定性にも優れ、接着作業を容易に行えます。

主用途: 接着剤全般

セメント改質剤 塗料ビヒクル

代表物性:

外観

不揮発分 (%)

粘度 (mPa・s)

ΡН

平均粒子径 (µm)

密度 (g/cm³)

MFT ()

粒子荷電

機械安定性

T g ()

引張強度 (MPa)

引張伸び (%)

乳白色

 6.5 ± 1

2000~6000

4 ~ 7

0.8

1.08

0

ノニオン

良好

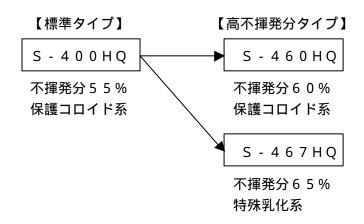
0

5 . 8

7 9 0

<技術資料:スミカフレックス 467HQ>

1.グレードの位置付け



2.エマルジョン物性

	エマルジョン物性
外観	乳白色
不揮発分 (%)	6 5 ± 1
粘度 (mPa・s)	2000~6000
PH	4 ~ 7
平均粒子径 (μm)	0 . 8
密度 (g/cm³)	1 . 0 8
MFT ()	0
粒子荷電	ノニオン
機械安定性	良好
Tg ()	0

3.フィルム物性

(1)フィルム強伸度

項目			代 表 値		
괃	常	態	伸度	(%)	7 9 0
強 常 態	抗張力	(MPa)	5.8		
	度耐水	伸度	(%)	8 4 0	
反		抗張力	(MPa)	2.0	

測定条件

フィルム厚み : 約0.15mm(23 ×65%RH、7日間乾燥し成膜)

フィルム形状 : ダンベル3号

常態 : 23 ×65%RH 7日間乾燥後そのまま測定 耐 水 : 水浸漬 24時間(23) 濡れたまま測定

: 500mm/min 引張強度

(2)フィルム水滴試験

	S - 4 6 7 HQ	S - 4 0 0 HQ	S - 4 6 0 HQ
白化するまでの時間(分)	> 1 2 0	2	5

スライドガラス板上に、約 0.15mm(Dry)のフィルムを作成(23 × 65%RH にて 乾燥)、新聞紙上の8ポイント活字の漢字の上に乗せ、皮膜上に水滴を一滴落とし、 その活字が読めなくなるまでの時間を測定。

(3)フィルムの耐水・耐アルカリ性

		S - 467HQ	S - 400HQ	S - 4 6 0 HQ
耐水性	溶出率(%)	1	5	9
	吸水率(%)	1 2	1 6	1 9
耐アルカリ性	溶出率(%)	1	9	1 2
	吸水率(%)	1 5	2 0	2 8

測定条件

フィルム厚み : 約0.15mm (23 × 65%RH、7日間乾燥し成膜) 耐 水 性 : 水浸漬 4日間(室温)

耐アルカリ性 : 1 N N a O H 水溶液浸漬 4 日間 (室温)

4. 応用例

(1)初期接着性

	S - 4 6 7 HQ	S - 4 0 0 HQ	S - 4 6 0 HQ
セットタイム(秒)	1 2	2 2	1 8

ライナー紙 (坪量 2 0 0 g/m²) に、エマルジョンをWetで3 mil 2 塗布し、直 ちに上質紙(坪量90g/m²)を貼り合せ、即180°剥離を行い、紙破率100% の時間を測定する。

(2)各種基材に対する接着性

		S - 4 6 7 HQ	S - 400HQ	S - 4 6 0 HQ
常態強度	PET	4 . 3	0.7	0.6
(N/25mm)	OPP	3 . 1	0.8	0.9
耐水強度	PET	3 . 6	0.2	0.3
(N/25mm)	ОРР	1.9	0.8	0.7

布(綿ブロード#40)に100g/m2で塗布し、各種基材と接着。

23 \times 65%RH にて、4 日間以上乾燥後、常態強度はそのままで、耐水強度は水に 24 時間浸漬後濡れたままで、引っ張り速度 2 0 0 mm/min で 1 8 0 $^{\circ}$ 剥離試験を 行った。

(3)塩ビ合板接着性

		S - 4 6 7 HQ	S - 400HQ	S - 4 6 0 HQ
常態強度	(N/25mm)	4 7	4 9	4 8
耐水強度	(N/25mm)	1 8	1 5	1 6
耐熱クリープ	(mm/hr)	2 0	4 0	3 8

試験条件

PVCシート : 半硬質ダブリングシート

合 板: ラワン合板 JAS 1 類 1 等 3 mm 厚接着剤配合: エマルジョン / トルエン = 1 0 0 / 6

塗布量 : Wet 130g/m²

圧 締 : 50kg/30cm×30cm、20時間(23 ×65%RH)

養 生 : 解圧後 6 日間 (23 × 65%RH)

常態強度: 25mm 幅カット後そのままで、速度 100mm / min、180° 剥離耐水強度: 水浸漬 20 時間後濡れたまま、速度 100mm / min、180° 剥離耐熱クリープ: 6 0 、9 0°角、5 0 0g 静荷重にて、剥離距離を測定

(4)布/布接着性

		S - 4 6 7 HQ	S - 400HQ	S - 460HQ
常態強度	(N/25mm)	4 4	4 3	4 5
耐水強度	(N/25mm)	1 8	5	7
耐熱クリープ	(mm/hr)	1 2	1 4	1 4

試験条件

布 : 綿ブロード#40

塗 布 : 不揮発分 40% 希釈したエマルジョンを 1 0 0 g/m² 塗布し、

80 ×10 分間乾燥。その後エマルジョン原体を100g/m2塗

布する。

接着塗布面同士を貼り合せて接着し、ゴムロールにて密着させる。圧締2 kg/15cm×15cm、20時間(23 ×65%RH)

養 生 : 解圧後7日間(23 ×65%RH)

常態強度 : 25mm 幅カット後そのままで、速度 200mm / min、180° 剥離 耐水強度 : 水浸漬 20 時間後濡れたまま、速度 200mm / min、180° 剥離 耐熱クリープ : 80 、 T字剥離、500g 静荷重にて、剥離距離を測定